

産業建設委員会記録

令和5年12月1日（金）
11時57分～12時47分
第3委員会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【執行部】

（産業経済部）佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、永見水産振興課長

（都市建設部）戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長

【事務局】大下書記

【議題】

- 1 所管事務調査事項について
- 2 12月13日（水）の委員会審査日程等について
- 3 その他
 - (1) 沖合底曳網漁業の新船建造取組支援について【水産振興課】
 - (2) 【要望書】「主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進方についての要望について」（委員会に配付）
- 4 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて（委員間で協議）
- 5 取組課題について（委員間で協議）

- (1) 地域の小売店の状況について
- (2) 水揚げ魚種の変化に対する漁業者の意見について
- (3) ふるさと体験村の状況について

令和5年12月13日（水）10：00 開催の産業建設委員会における予定議題

【予定議題】

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第113号 文書主義の徹底をし、ミスの再発防止をという陳情について
- 2 議案第66号 浜田市石州和紙会館条例の一部を改正する条例について
- 3 議案第67号 浜田市国民宿舍千畳苑条例の一部を改正する条例について
- 4 議案第68号 浜田市美又温泉国民保養センター条例の一部を改正する条例について
- 5 議案第69号 浜田市旭温泉あさひ荘条例の一部を改正する条例について
- 6 議案第70号 浜田市地域定住住宅条例の一部を改正する条例について
- 7 議案第72号 指定管理者の指定について（浜田市天狗石農村公園）
- 8 議案第73号 指定管理者の指定について（山陰浜田港公設市場）
- 9 議案第74号 指定管理者の指定について（浜田市木田暮らしの学校）
- 10 同意第5号 浜田市農業委員会委員の任命について
- 11 所管事務調査
- 12 執行部報告事項
- 13 その他
- 14 取組課題について（委員間で協議）

【会議録】

[11 時 57 分 開議]

○川上委員長

本日の出席委員は7名で定足数に達しているので、直ちに委員会を開催する。ではレジュメに沿って進める。

1 所管事務調査事項について

○川上委員長

12月13日水曜日に開催する当委員会における所管事務調査について、委員の要望を伺いたい。委員から執行部に資料提出や説明等を求めたい事項があるか。

○牛尾委員

ふるさと体験村はリニューアルオープンしているが、一番要の弥栄のみらい創造会議が大きく動くとのことでリニューアル予算も認めたのに、実際はそうになってない。佐藤さんを中心に頑張ると聞いて我々も予算を承認した流れがあるのに、どうも実態はそうでないということで、やはり来てもらってその辺の流れがどうなっているか伺いたい。予算を通した我々への裏切り行為のような結果になっている。それについてはきちんと説明してもらわないと。早いうちに手を入れないと大変なことになるのではと危惧している。皆の同意があればしていただきたい。

もう1点。先般門前湯治村と道の駅を視察した。現行のゆうひパークについては無償貸与という形になっている。市民からも色々意見があるのだが、全く無償で2年間も貸与して良いのかということと、備品を使うと鮮度は落ちるし劣化も激しいので、そういうことくらいは料金をもらう必要があるのではないかという意見を結構聞いた。言われるとおりでと思う。今のままの無償貸与が良いのかどうか、一度議論する必要があると思っている。もしこれも皆の同意があれば所管事務調査してほしい。

○川上委員長

牛尾委員から、ふるさと体験村についてはおいでいただいて意見を聞くということもそうだが、聞くだけではなくある程度資料を求めないと申し訳ない。状況資料を求めて、加えて当日当方へおいでいただく方向でどうだろうか。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではふるさと体験村の現状について確認調査という形でよろしいか。

(「はい」という声あり)

それから道の駅について。牛尾委員から、確かに今は無償貸与で進めているが、備品について劣化などもあるので、若干でも使用料をいただくことも検討して良いのではないかとことだが、どのようなものがあるか私どもは分かってない。したがって執行部におかれては、備品を調査してもらいたい。

○商工労働課長

今回うちが買い取ったのは、あくまで躯体などである。基本的にゆうひパーク浜田

株式会社が持っておられる備品類はそのままゆうひパーク浜田が持っておられる扱いにしている。備品関係は基本的にこちらが持っていない。

○川上委員長

そうすると今空いているところも全てゆうひパーク浜田の持ち物か。

○商工労働課長

動産関係についてはゆうひパーク浜田が持っている。

○川上委員長

今は2階が空いているが、あそこにあるものも全てゆうひパーク浜田の持ち物か。

○商工労働課長

はい。一緒にくっついているものなどがどこまでかというのはあるが、基本的には設備・備品類はゆうひパーク浜田のものである。

○牛尾委員

備品は分かった。しかし施設を使うということは劣化するという事だから。先日視察した道の駅は第三セクターで、利益が350万円。施設劣化はするのだから、例えば丸2年貸すなら、それを全くの無償貸与というのは問題があるのでは。最初は無償貸与が前提だったが、やはり色々な市民から。今は買い上げて、必要経費は払うだろうが企業の借金が減っていくばかりで、丸もうけという言い方は失礼があるかもしれないが、それは問題があるのではないかと思う。施設劣化に対していくらかは払ってもらわないと。

○川上委員長

それについては今後当委員会で検討していくという形で進めさせてもらって良いか。

○牛尾委員

はい。

○川上委員長

執行部も当委員会で少しもみたいと思うので、その点をご留意いただくようお願いする。これについては所管事務調査ではなく、今後委員会の問題点という形にさせていただきます。

ほかに所管事務調査はあるか。

○田畑副委員長

特に中山間地域をはじめとして小売業の店がなくなってきている。旭、弥栄、三隅はAコープ。大変経営状況が厳しく、いつ店をたたむか分からない。それを踏まえて、地域の小売業の店を調査し、極力利用してあげるように。どの程度店があるかも分からないし。弥栄へ行くとAコープくらいしかないのではと思う。旭もAコープかまんてんくらいではないか。金城はキヌヤがあるがほかにはあまり見受けられない。高齢化に伴って買い物弱者がどんどん増えてくる中、地域でどう対応していくのか、既に考えていかなければいけない。各地域の小売業を調査してもらいたい。

○牛尾委員

関連で、プレミアム商品券を何度か出してもらい、地元でしか使えない商品券が非

常に地元で喜ばれた。あれがなければ潰れていたという声がある。併せて、地元小売店や業者のために年に1回やることも含めて、総合的にこの委員会で所管事務調査をやっていけば良い気がするのだが。

○川上委員長

田畑副委員長が言われた調査に加えて、その店で商品券がどのように活用されていたかも含めて調べたらどうか。

○産業経済部長

今までプレミアム商品券を発行して、それぞれ共通券と地元券があった。今度の委員会でその辺の使用状況は執行部から報告はする。それについて、地域のAコープやキヌヤだといった内容は、調べようと思えば調べられる。

○牛尾委員

観光協会が数字を持っているのでは。地元券がどういう流通経路で流れたか、実績を。

○産業経済部長

共通券と地元券があり、Aコープやキヌヤは市内事業者ではないので地元券は使えず、共通券の使用先として出てくると思う。

○川上委員長

田畑副委員長と牛尾委員が言われた内容だが、地域ごとの小売業状況調査及びプレミアム商品券の地元券活用状況という形でやらせてほしいが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

ほかには良いか。

○小川委員

水産関係について伺いたい。最近新聞を見ていると、例えばマグロが来たで極端に獲れたり、この周りでもカツオが入ったりした。水温の関係だと思う。また磯焼けが深刻だという話を聞いた。海の環境変化について。かなり影響しているのではと心配している。漁業関係者は変化に対してどのような認識や危機感を持っているか伺いたいのだが。

○川上委員長

小川委員が言われたのは、環境等々による水揚げ魚種の変化について、地域の漁業関係者はどのような意見を持たれているか調べてほしいということだと思うが、可能だろうか。

○水産振興課長

漁業者の声を聞き取るのは可能である。ただ、実際に魚種が変化した影響、環境の影響は県の水産流通センターに聞いてもはっきりしたことは分からない。ただ、海水温度が上がってきたためだろうと言われている。感覚的には特にノドグロ。昨年、今年と獲れてない状況が続いている。これもやはり海底の海水温度の影響か。温かい水が入り込んでいる感じがすると言われている。

○産業経済部長

小川委員が言われるのは、新聞に載っていた例えばカツオなど。海水温度の変化に伴う魚種変化なども調べてほしいと。

○川上委員長

水産業者に対して、水揚げ魚種の変化に対する意見を伺いたい、という形でまとめてほしい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

それではただいま所管事務調査は、ふるさと体験村の現状調査について、次回は弥栄のみらい創造会議代表者においていただいて意見を伺う。二つ目が地域ごとの小売業調査。現状とプレミアム付き商品券の使用状況等が分かる範囲で結構なのでお願いする。三つ目は、水産業者に対して水揚げ魚種の変化に関する意見を伺ってほしい。以上三つでよろしいか。

(「はい」という声あり)

2 12月13日(水)の委員会審査日程等について

○川上委員長

産業建設委員会は12月13日水曜日10時から、全員協議会室で行う。予定議題はレジューム下の黒枠内に載せているので見てほしい。今回の委員会に付託された請願はないので、議題の順番は陳情審査からスタートとなる。

当委員会に付託された1件の陳情について、審査・採決を行う。当委員会で採択した陳情は、所管事務調査も含めての対応となることをご承知願う。

陳情第113号について、委員会として参考人招致の必要性をお諮りする。いかがでしょうか。

(「不要」という声あり)

ただいま不要との声があった。では、参考人招致は行わない。よろしく願います。当日審査の参考のため市の対応等を確認したいので、執行部はよろしく願います。

続いて黒枠内の予定議題2から10までの9件が市長提出議案で、審査を行う。黒枠内の議題11、所管事務調査は先ほど提案があった3件について、当日資料と説明をお願いする。同時に参考人として弥栄のみらい創造会議代表者またはもう一人の方においていただいて意見を伺う。続いて黒枠内の議題12番、執行部報告事項である。執行部から、現在分かる範囲での件数をお願いする。

○商工労働課長

報告事項は今2件と、あとは資料配布のみの漁業別水揚げについて、予定している。

○川上委員長

2件の報告事項と資料配布。水産については資料配布で良いか。何か変化があれば説明でも結構だが。

○水産振興課長

特にないが、1月から12月の全体が出たときに説明させてもらう。

○川上委員長

では漁業別水揚げは今回は資料配布のみで、年間トータルが出た時点で説明を受ける形にさせてもらう。執行部報告事項は執行部から補足説明のみとし、質疑を行うこととしている。委員は事前に資料をしっかりと読み込んでおくようお願いする。

続いて黒枠内の議題13その他である。執行部退席後、市長提出議案について採決を行う。

以上で説明を終わるが、委員及び執行部から質問等はないか。

(「なし」という声あり)

3 その他

(1) 沖合底曳網漁業の新船建造取組支援について【水産振興課】

○川上委員長

水産振興課長。

○水産振興課長

(以下、資料を基に説明)

○川上委員長

ただいま説明が終わった。委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

事業効果が年間4億円と報告があった。今、あけぼのの新船は5億円を超えるようなスピードで頑張っておられる。新船効果というのはそのくらいあるのだろうと見ている。ぜひ、ふるさと納税のこともあるが皆の理解をいただくようよろしく願います。

○川上委員長

ほかにあるか。

○大谷委員

必要なことだとは思う。いわゆる船員確保の観点で、新しい船は居住環境としてどういう点が改良されるのか。分かる範囲で良い。

○水産振興課長

新船については、あけぼのの話の中で、今まで75トンの船が121トンに大きくなっている。それはいわゆる作業スペースを確保したり、今まで船員は雑魚寝のような形だったが、個室を増やしてプライベート空間を確保するなど環境も良くする設計で、あけぼのは造られている。

今回13億円の見積りが出ているが、これはあけぼのの新船を参考にされているので、労働環境改善のための設計が含まれている。

○大谷委員

そのことによって安定的に乗組員の確保ができることが、持続的な水産業の発展につながると思う。そういった観点も大事にしながら、期待したい。

○牛尾委員

今年7月に新船の見学会があった。小川委員や柳楽議員と一緒に。個室で環境がすごく良い。逆にほかの船員が新船に流れたら大変だという心配があった。

○川上委員長

進行を交代したい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○川上委員長

こうして新船を造られて、船員が不足するかどうか分からないが、浜田市はせっかく近くに水産高校がある。そこへのお願い、携わりをもう一度考え直してほしいとか、そういうPRもしっかりするべきではないか。執行部はどのように考えているか。

○水産振興課長

現在でも沖底は水産高校に対して求人募集されている。ただ、あのよう古い船でもあるし、6日間操業で過酷ということもあり、なかなか水産高校から毎年2、3人ほどという感じにはなっていないのは確かである。ただ、今回新船になり労働環境が改善され、先ほど牛尾委員が言われたように水揚げも上がってきて、恐らく船員の給与も上がる。そういうことが魅力につながって、水産高校からの船員が増えてくる可能性があるので、今後PRしていきたい。

○産業経済部長

今、浜田と江津で浜田江津地区雇用推進協議会という組織がある。この組織が毎年5月に地元高校において地元就職養成講座をしている。会長とハローワーク所長、商工会議所会頭で毎年水産高校にも行っている。そういった中で今回新船建造し船の居住環境が良くなった。また、船が新しくなれば水揚げ高も上がってくるので給与面も上がるといったことも十分PRさせてもらって、水産高校から入ってもらうようにしていきたいと思っている。

○川上委員長

浜田市として水産振興を考えれば、新たに入られた方に対してよく言われているのが「三日三月三年」という言葉であるように、3年勤めてもらうためにも3年間の給与補助といったことも検討する必要があるのではと考えるが、検討の余地があるか。

○水産振興課長

今話を聞いたので少し検討させてもらいたいですが、新しい船員が入られるとき、今まで新卒3年以内はいわゆる給与補助というよりは研修扱い補助という形で、給与の2分の1を漁業経営体に対して支援している。

今考えているものについてはまた当初予算で説明させてもらおうと思うが、今は新卒3年ということで枠が狭くなっているので少し広い範囲で、30歳未満まで引き上げて、若い人の雇用に努めてもらえば補助しようという制度に、少し緩和しようかと思っている。3年間の給与補助という話は検討させてほしい。

○田畑副委員長

進行を交代する。

○牛尾委員

今年の秋漁。最初の1か月は皆良くて、一番給与が安い船員でも92、93万円だった

そうである。大体歩合制になっているので、基本給与の上に水揚げが上がれば上乘せになる。それくらいあると若い人が乗る気になるというので、大体船員が今は若返っている。

○川上委員長

状況は良いようである。ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

(2)【要望書】「主要地方道浜田美都線全線2車線化の促進方についての要望について」(委員会に配付)

○川上委員長

ここで要望書の提出が1件あった。申合せにより、要望書はその写しを関係委員会に配付するのみとなっているので、内容は各自確認をお願いします。

ほかに執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、ここで執行部は退席されて結構である。

(執行部退席)

4 はまだ市民一日議会での発言内容の今後の取扱いについて(委員間で協議)

○川上委員長

11月20日の全員協議会で、今後の対応についての方向性が決まった。産業建設委員会で扱うことになったのは4件である。配信された資料の緑色部分である。3番、4番、6番、10番の四つである。参加者には書いてある対応の内容は既に通知されている。また、各委員会での対応状況を12月下旬に再度参加者に通知する流れになっている。このため12月19日の全員協議会で参加者に再度通知する内容を全議員で確認する予定となっているので、本日は産業建設委員会としてどのように対応していくか、方向性を協議したい。事前をお願いしているので、各委員から考えを発表してもらいたい。

まずは水産体験について。

○牛尾委員

今回通告している。

○川上委員長

一般質問の通告をしていると。

○牛尾委員

西田議員も通告しているらしい。

○川上委員長

これ、実はほかでもそういう話があったのだが、調べたところ漁業法の公式規則の変更を知事が国に諮ることが可能であり、その中で、子どもの教育についての水産体

験を含めることが可能ではないかということが言われている。

○牛尾委員

そういう関係で今回質問を通告している。

○川上委員長

牛尾委員、西田議員から一般質問で対応するというので。2番目、竹迫児童公園の遊具については、先般維持管理課長からある程度答えが出ているが。当委員会からはどうでしょうか。要請するでしょうか。全てが可能ということはないが。遊具については当委員会から要請する。

続いてイベントを増やしてほしいという話について。先般視察に行った安芸高田市のように、たくさんのお金を掛ければ何とかなるが、なかなかお金を掛けてまでは難しいと思う。これについては各地域または各施設等に、委員会または市から案内する。必要であればイベントに対する補助金を少し検討してもらおうということ、我々が執行部に要請しても良いのではと考えるが。

○牛尾委員

一般質問通告をするに当たって、この発表者へ市がレクチャーしている。浜田には意外とイベントがあるが高校生の視点で、そこまで知らなかったということと、もう一つは自分たちが楽しめるイベントが身近にないという不満を彼は持っていた。

○川上委員長

では発表者へ現況説明し、ある程度納得いただいたから、求められていることに関しては当委員会から執行部へ、もう少しお願いしてみるという形で良いか。

○牛尾委員

良いと思う。

○川上委員長

それで良いか。

(「はい」という声あり)

最後。浜田港を利用した新エネルギーについて。これはどうか。新エネルギーについて。産業建設委員会の提言をということだが。新エネルギーは確かに必要なことだと思うし、浜田港を活用するのも地域活性化になるかと思う。同時に三隅では電力。従来のエネルギーなので、浜田として新エネルギーに手を伸ばすことも必要な面があるかと思う。これについてはどうでしょうか。

○牛尾委員

少し勉強させてもらわないと、この質問について簡単に答えを出せる状況ではないと思うが。

○川上委員長

では当委員会で調査検討してみたい、で良いか。

○佐々木委員

併せて、このような意見があったというのは、どこの所管になるか分からないが、お伝えするくらいしかできない。それからゆっくり研究・勉強する。勉強してもなか

なかこのレベルは。しかし意見が大事なので、こういう意見があったとしっかり扱う。

○川上委員長

意見は次へ出すが、しかしやはり委員会としてどうするか。

○牛尾委員

委員会としては、研究・検討させていただくということくらいしか言えないのでは。

○小川委員

こういう事業は恐らく国のモデル事業、そういう要請を受けてされるところが多いと思う。視察先でも、国の事業として受けてもらえないかというアプローチがあり、誘致したところもある。浜田も確かに条件があるかもしれないが、国の要請と地元のニーズとが一致することが必要である。どういうメニューがあるか分からない。特に新エネルギーに関しては。水素基本戦略については実際にはかなりハードルが高いように感じている。国の要請とマッチするなら乗る必要があるかもしれないが、その辺も研究してみないと分からない。

○川上委員長

モデル事業をすぐ受け入れるとなると地元の負担がすごく大きくなる。

○牛尾委員

水素は世界競争なので、一自治体があればこれ言えない。

○川上委員長

調査研究を少し進めていきたいという形にさせてもらいたい。

○大谷委員

11月17日に松江で、地方財政金融の講演会があり、そこで日銀松江支店長の講演があった。その中で、脱炭素の動きは中小企業にも波及すると言われた。島根県も無関係ではなくやっていかなければいけないと。

脱炭素の一要素としては水素が挙げられている。牛尾委員も言われたように、まず研究して、その可能性があればやるという構えで研究してみたらどうか。

○川上委員長

当委員会でも研究していきたい、という形でお答えするという事で良いか。

○大下書記

先ほど福祉担当者から聞いたのだが、1番の合併処理施設について。これは今福祉環境委員会に振り分けされているが、どうも自治体の総意の話ではない感じらしく、もしかすると公営住宅関係として都市建設部に振る可能性があるとのことで、当委員会に振られる可能性があるということをご承知おき願う。

○川上委員長

これは他の自治体でも実際にそういうことが起きている。現在浜松市営住宅に設置された浄化槽についても、そういう問題が起きて、市にお願いする形で解決に結び付けたのでは。地区にあるコミュニティプラントはどうも産業分野に移るらしいので、うちで扱うことになるかもしれないと聞いていた。もしそうなればまた検討いただく。

では、委員からの意見をもとに正副委員長で回答案を作成する。次回の委員会でお

示しするので確認の上、決定したい。

5 取組課題について（委員間で協議）

○川上委員長

先日事務局から皆にメールを送っている。これまでの取組課題の意見交換会のまとめを見てもらい、皆の課題、問題についてピックアップしてもらいたいことと、まとめには載ってないが事業者から直接聞いた、もしくは委員自身の考えがあれば聞かせてもらい、取組課題を決めていきたい。

先ほど田畑副委員長が言われたように9月定例会議で、前委員である布施議員が産業建設委員会の代表質問をされた時点では、小規模な事業者についての検討をしておく必要があるのではないかと。理由は、大企業が経営不振に陥った場合に手を引かれる。その際、地元に見合う業者が残るかどうかが、非常に心配である。

先ほどの所管事務調査を加えて検討していただきたい。それで良いか。

（ 「はい」という声あり ）

これは前回の申送りのようなものなので、やっていきたい。ほかに何かあるか。今日でなくて良いので、何か問題点があり当委員会で取り上げていくものがあれば、お知らせ願う。

○小川委員

福祉環境委員会では障がいのある方の就労支援について取り組んでいたが、どうしても福祉部門と産業部門との連携が必要ではないかと。実際中小企業の経営者とも話す中でそのように感じた。障がい者就労に関する連携について、切り口として入れていただければと考えている。中小企業から言えば、今は人手不足で障がいのある方の雇用も受け入れたい、ニーズはあるが相談体制などが自前ではなかなか難しいと。レントなどと相談しながらされている。ニーズは確かにあると言われる。連携ができるよう検討していただければと思う。

○川上委員長

小川委員が言われたように、障がい者就労について、産業建設委員会側での検討を。公表される数字に実際には至ってないところもたくさんあるので、商店または企業ごとに、そういう方々が働ける部分があるのではということも含めながら今後調査していきたい。調査検討部分として捉えさせてほしい。

ほかにあるか。

（ 「なし」という声あり ）

議題は以上だが、委員から特段ほかに何かあるか。

○村木委員

議会広報広聴委員会からお知らせがある。当委員会から3人出ている。今度大学生との意見交換会を予定している。全議員を対象としたもので、来年1月17日に行いたい。まずは日程を押さえていただければ。具体的な内容等は12月14日の議会広報広聴委員会で決定し、改めて12月19日の全員協議会で案内させていただく。

全員協議会でもあったが、議会だよりの原稿については時間がタイトである。ご理解いただきたい。

○川上委員長

ご理解いただき、ご協力をよろしく願います。

○牛尾委員

18、19日は特別委員会で視察が入っている。

○川上委員長

来年1月17日午前中、全議員対象である。ぜひご参加いただきたい。

○大下書記

今配信した資料が、11月17日の特三の臨時総会で出された資料で、よくまとめられた良い資料なので産業建設委員会に情報提供したいということでいただいた。ご覧願う。

○川上委員長

議長から資料配布である。よくご覧いただいてご理解いただきたい。以上で産業建設委員会を終了する。

[12 時 47 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川 上 幾 雄